



ヒマワリも枯れる水不足



六甲トンネル湧水排水溝

水温調査結果 2016年8月

	場所		8/10PM	8/11PM	8/22PM	8/23PM	8/25AM	8/25PM
伊子志	①	流心	30.8	*	*	*	*	*
	②	下流ワンド	31.7	*	*	*	*	*
混陽井	③	取水口	31.0	*	*	*	*	*
百軒樋	④	取水口	31.3	*	*	*	*	*
	⑤	下流左岸淵	31.3	*	*	*	*	*
六樋	⑥	魚道	31.8	*	*	*	29.4	32.7
	⑦	伏流水	*	*	*	28.2	27.9	28.6
	⑧	堰直下溜まり	30.0	*	*	*	30.1	32.6
第8堰	⑨	魚道	31.9	*	33.8	30.2	29.8	33.0
	⑩	堰直下溜まり	32.7	*	25.9	25.2	29.9	28.7
仁川合流点	⑪	流心(川西川)	30.3	*	32.8	28.9	29.9	32.1
	⑫	水制工	*	*	*	29.2	29.3	*
	⑬	本流動物愛護センター	30.3	*	31.2	29.3	30.2	32.2
第7堰	⑭	魚道	31.1	*	32.9	30.2	30.8	32.1
甲武橋	⑮	魚道	32.2	*	*	*	*	*
第6堰	⑯	魚道	32.4	*	*	*	*	*
第2堰	⑰	魚道	31.7	*	*	*	*	*
甲武橋水位			0.54m		0.49m	0.46m	0.58	0.58
六甲トンネル		気温	*	34.0	*	*	*	*
		排水溝	*	22.5	*	*	22.7	*



伊子志 水位が下がり飛び石が水面に顔を出していた。



混陽井 右岸の魚道を流れる水と混陽井取水量が全水量



第8堰 右岸低水護岸脇に低水温の溜まりがあった



仁川断流、川西川から僅かな流れにアユの姿が見える。



第7堰 魚道下流の砂州で流れは左右に分かれる。



水量管理基準点の甲武橋の流れは魚道だけになっていた。

8月14日 中山山系にまとまった降雨が有り甲武橋水位が一時的に0.78mまで上昇したが、7月下旬以流域にまとまった降雨は無く、河原に植えられたヒマワリも枯れかかっている。甲武橋水位は0.7~0.5m、気温35度前後で推移し高気温・低水量状態が続き、気温や直射日光や湧水の影響が顕著に現れると考え水温調査を実施した。

- ①高気温と直射日光を受け下流へ行くほど水温上昇するものと推測していたが、上下方向に特段の特徴は見られなかった。
- ②午後の水温に比べ明らか午前水温が低く気温直射日光の影響が大きい。(日中の砂州温度41度に達した)
- ③武庫川の伏流水である六樋の水温は明らかに本流より低く安定している。
- ④第8堰下流側に明らかに水温の低いところがあり(25日は水位が上昇して本流の水が混入した。堰止めたら感覚的に底の方の温度低下したが実測出来なかった。)量的には少ないが、武庫川の伏流水以外の湧水があることが推測出来る。
- ⑤第8堰と7堰間低温湧水の影響を推測させられるが、7堰の温度に特段の傾向は見られなかった。表流水が流れ底水は滞留しているものと推測出来る。